

令和2年4月13日

奈良市長 仲川元庸 様
奈良市教育長 北谷雅人 様

奈良市議会議員
林政行

新型コロナウイルスに関する要望書

新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐため全国各地で、不要不急の外出自粛要請や在宅勤務が呼びかけられる中、学校の休業が続く家庭内でのストレスによるDV＝ドメスティックバイオレンスや児童虐待の増加が懸念されます。

奈良市においても、児童虐待相談件数が、極端に減少しているとのことであり、通常の夏季休業中と比べても、児童虐待相談件数が減少しています。

その大きな要因は、新型コロナウイルス感染症拡大防止による学校等の臨時休業による学校からの児童虐待相談件数の極端な減少にあり、新型コロナウイルス感染症の拡大が続く中、不要不急の外出自粛が呼びかけられているため、これまで少なからず学校関係者や外部の目が届いていたものが、全くといってもいいほど届かなくなっていることです。

今後、更なる臨時休業の延長も考えられる中、家庭内でのストレスがさらに高まることが懸念されるとともに、学校が再開され、児童生徒が登校して、児童虐待の疑いが発見されるようなことがあってはなりません。

よって、奈良市、市教育委員会は、それぞれが主体性を持って、その上で関係部署とも連携を密にし、子どもを虐待や体罰から守るため、積極的な関与を行い、虐待や体罰等にさらされている子どもの早期発見や子どもからのSOSを察知できるよう、家庭訪問、電話連絡など、子どもが置かれている状況の定期的な把握や、特に日頃から気になっている子どもに変わった様子がないかなど子どもの変化に気づくなど、子どもへの聞き取りやアンケート、声かけなどを実施し、やむをえない場合には緊急避難的な支援も講じるよう求めます。

また、通常の夏季休業が終わると痩せて登校する児童生徒がいます。痩せる理由は、夏休み中は給食がなく、家庭では十分な栄養を取れず、痩せてしまうからです。このような貧困家庭の児童生徒が現在どのような状況であるのか心配でなりません。

そこで、貧困などで十分な食事が取れない児童生徒の把握と支援を求めます。

次に臨時休業が続く中、軽度・重度にかかわらず、障害のある子どもをお持ちのご家族は、これまで学校等に通わせている時間に心の余裕が少なからずできていましたが、現状では介助にかかる家族の負担が増し、家族全員が心身ともに疲れ果て、最悪の事態にも繋がりがねません。

学校の臨時休業が始まった当初、次のようなことを伺いました。

「テレビや新聞では、障害のある子を持つ親子の大変さは全くと言っていいほど報道されません。特別支援学校も突然休校になり、精神的にも、体力的にも大変な事になっています。」

これが障害のある子どもを持つ親の本当の心境です。

現在奈良市では、放課後デイサービスの緩和の対応をしていますが、それを利用していないご家庭や、サービスを必要としているご家族に届いていないように思われます。

そこで、必要としている人に必要な情報が届く仕組みの構築を求めるとともに、障害のある人の介助にかかる家族のより一層の負担軽減を求めます。

また、インクルーシブ教育システムを推進している市教育委員会には、市内の学校に多くの障害のある児童生徒が在籍しています。

そのような子どもたちや、それを取り巻く家庭への支援を福祉の観点からも、市教育委員会は積極的に果たす義務があります。

学校が休業し、多くの障害のある児童生徒を取り巻く環境も日々ストレスが増加しています。

そこでこれらの懸念を解決していくため、学校現場にある多くの情報の活用や、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーなどの支援を活用し、積極的な関与と児童生徒へのケアや家庭への負担軽減を求めます。

最後に、奈良市でも新型コロナウイルス感染症の予防対策として、①換気の悪い「密閉空間」、②多数が集まる「密集場所」、③間近で会話や発声をする「密接場面」と、3つの条件がそろう場所が集団感染のリスクが高い。だから3つの「密」が重ならないよう工夫しましょう。そして、「密」を避けてください。と呼びかけています。また感染防止対策として多くの職員がマスク着用し執務を行っています。多くの方がマスクをされていますが、それにより聴覚障害の方で、普段読唇術で相手の話を理解される方は、マスクで口元が見えず、話が理解できないだけでなく、緊急な場合に相手に話しかけたくても、③間近で会話や発声することが駄目と、マスクを取って教えてほしいと言い出しにくい状況が出てくる懸念があります。

また、市役所などで視覚障害の方が困っておられるのに、③間近で会話や声がけをすることが駄目と手を差し伸べないようなことが懸念されます。

こうした現状は、奈良市バリアフリー基本構想推進協議会の委員の方も同じ懸念を表明されています。

よってこのようなことのないよう、市役所等、市の管理施設において、障害のある方への配慮を求めます。

また市長及び教育長は、特に発信力の高い立場でもあり、行政の執行機関のトップとして色々な権限を持っておられます。これまで市教育委員会等に対して同様の主旨を伝えてい

ますが、市民の皆様新型コロナウイルス感染症の発信をする際には、特に社会的弱者への配慮をしていただき、「こころのバリアフリー」にも繋がるよう、より一層連携を強められ、対応されるよう要望します。

以上、3項目について要望させていただきます。